



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月8日

上場会社名 国際計測器株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7722 URL <http://www.kokusaikk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 進一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 松本 博司 (TEL) 042-371-4211
 四半期報告書提出予定日 2022年11月9日 配当支払開始予定日 2022年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,269	△42.6	△876	—	△538	—	△515	—
2022年3月期第2四半期	5,699	△0.1	391	71.8	426	91.8	259	101.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 △248百万円(—%) 2022年3月期第2四半期 381百万円(80.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△37.46	—
2022年3月期第2四半期	18.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	19,520	10,911	54.7
2022年3月期	17,371	11,298	64.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 10,694百万円 2022年3月期 11,128百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
2023年3月期	—	10.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	△1.2	800	79.2	800	11.5	480	1.0	34.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) - 、除外 - 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	14,200,000株	2022年3月期	14,200,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	451,649株	2022年3月期	451,649株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	13,748,351株	2022年3月期2Q	13,997,203株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.5「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
3. 補足情報	14
生産、受注及び販売の状況	14

※ 当社は、以下のとおり説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・2022年12月6日（火）……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、世界的な半導体不足及び原油高の影響が顕在化してきた中で、ウクライナ情勢の緊張が激化し、先行きの不透明感が極めて強まっている状況となっております。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大は縮小の傾向を見せているものの、今後の再拡大も懸念されるため、先行き不透明な状況が続いております。

また、日本経済は、世界的な半導体不足及び原油高の影響のみならず、部品等の供給不足の影響を受けており、企業の設備投資も弱含んだ状況が続いております。なお、当社グループが主力取引先としている中国及び東南アジアの自動車及びタイヤ業界の設備投資については、当第2四半期連結累計期間において堅調に推移しており、当社の主力顧客である中国企業の欧州や東南アジア等への海外進出が続いております。

また、国内自動車関連メーカーの設備投資につきましては、電動化の推進やカーボンニュートラルなどの世界的潮流への対応に注力するなか、電気自動車等の環境や省エネに配慮した自動車部品に対する製造・研究開発分野への投資が続いておりますが、半導体不足や各種素材の価格高騰などの懸念材料もあるため、設備投資については実施時期を慎重に検討されております。

このような経営環境の中で当社グループは、生産ライン用の試験装置であるバランスングマシンとともに、研究開発用でありイニシャルコストとランニングコストの低減が見込める電気サーボモータ式振動試験機の営業活動を、国内及びアジアを中心に積極的に展開しております。この結果、中国をはじめとするアジアのタイヤメーカー向けの生産ライン用タイヤ関連試験機や、国内自動車部品メーカー向けの電気サーボモータ式振動試験機等の受注を獲得いたしました。また、高額受注としましては、国内の官公庁向けの震度情報ネットワークシステム更新のための地震計の受注（当第4四半期売上検収予定）を獲得しております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高32億6千9百万円（前年同四半期比42.6%減）、営業損失8億7千6百万円（前年同四半期は3億9千1百万円の利益）、経常損失5億3千8百万円（前年同四半期は4億2千6百万円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失5億1千5百万円（前年同四半期は2億5千9百万円の利益）となりました。

売上高につきましては、部品等の供給不足に伴う製品製造期間の長期化や、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う客先との納期調整や海上輸送船舶及びコンテナ不足に伴う輸出待ちは継続しており、アジアのタイヤメーカーを中心としたバランスングマシンの売上検収が減少したことや、国内向けの電気サーボモータ式振動試験機の売上検収が減少したため、前年同四半期と比較して減少しております。利益面につきましては、減収の影響により、前年同四半期と比較して減少しております。

セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

[日本 (国際計測器株式会社)]

主に海外向けバランスングマシン及び国内向け電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が減少したため、全体として出荷・検収は減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失となりました。

売上高	23億7千5百万円 (前年同四半期比52.9%減)
経常損失	5億4千4百万円 (前年同四半期は6億5千6百万円の利益)

[日本 (東伸工業株式会社)]

電力業界からのクリープ試験装置や腐食環境試験装置などの受注が減少し、材料試験機の出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常損失は前年同四半期と比較して増加いたしました。

売上高	7千1百万円 (前年同四半期比33.0%減)
経常損失	3千1百万円 (前年同四半期は2千1百万円の損失)

[米国]

米国のタイヤメーカーへのバランスングマシン及び自動車部品メーカーへの電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常損失は前年同四半期と比較して減少いたしました。

売上高	3億3千万円 (前年同四半期比65.7%増)
経常損失	5千2百万円 (前年同四半期は5千7百万円の損失)

[韓国]

韓国大手自動車関連メーカーへのバランスングマシンの出荷・検収が減少し、電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が減少いたしました。

その結果、売上高は減少し、経常利益は前年同四半期と比較して減少いたしました。

売上高	4億8千9百万円 (前年同四半期比38.2%減)
経常利益	1千万円 (前年同四半期比86.1%減)

[中国]

中国国内のタイヤメーカーへのバランスングマシン及び自動車関連メーカーへの電気サーボモータ式振動試験機の出荷・検収が増加いたしました。

その結果、売上高は増加し、経常利益となりました。

売上高	5億6千9百万円 (前年同四半期比118.6%増)
経常利益	2千9百万円 (前年同四半期は1千4百万の損失)

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、195億2千万円（前連結会計年度末比21億4千8百万円増）となりました。これは、売上債権の回収や売上の減少により受取手形及び売掛金が減少（前連結会計年度末比4億6千5百万円減）したものの、現金及び預金が増加（前連結会計年度末比15億4千8百万円増）したことや第3四半期以降に出荷予定の仕掛案件の進捗により仕掛品が増加（前連結会計年度末比11億2千8百万円増）したことが主たる要因であります。

(負債の部)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、86億8百万円（前連結会計年度末比25億3千4百万円増）となりました。これは、課税所得の減少により未払法人税等が減少（前連結会計年度末比1億5千5百万円減）したものの、仕入が増加したことにより支払手形及び買掛金が増加（前連結会計年度末比3億8千4百万円増）したことや受注の増加により前受金が増加（前連結会計年度末比4億2千1百万円増）したこと及び運転資金拡充のため借入を実行したことにより1年内返済予定の長期借入金が増加（前連結会計年度末比9千6百万円増）したこと及び長期借入金が増加（前連結会計年度末比18億5千1百万円増）したことが主たる要因であります。

(純資産の部)

当社グループの当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、109億1千1百万円（前連結会計年度末比3億8千6百万円減）となりました。これは、為替換算調整勘定が増加（前連結会計年度末比2億3千6百万円増）したものの、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことなどにより利益剰余金が減少（前連結会計年度末比6億5千2百万円減）したことが主たる要因であります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、営業活動により7億6千6百万円減少し、投資活動により4千4百万円増加し、財務活動により18億7千4百万円増加した結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ13億9千8百万円増加し、47億2千9百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、7億6千6百万円の支出（前年同四半期比13億8千9百万円の収入減少）となりました。これは、売上債権の回収により売上債権が5億2千4百万円減少したことや仕入債務が3億5千9百万円増加したものの、税金等調整前四半期純損失を5億3千8百万円計上したことや第3四半期以降に出荷予定の仕掛品が10億3千1百万円増加したことなどによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、4千4百万円の収入（前年同四半期比3千6百万円の支出増加）となりました。これは、資金運用のために定期預金の預入による支出が5億4千3百万円あったことや、保険積立金の積立による支出が1千7百万円あったものの、定期預金の満期が到来したことにより定期預金の払戻による収入が4億6千8百万円あったことや保険積立金の解約による収入が1億6千5百万円あったことなどによるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、18億7千4百万円の収入（前年同四半期比17億5千2百万円の収入増加）となりました。これは、長期借入金の返済による2億5千2百万円の支出があったことや配当金を1億3千7百万円支払ったものの、長期借入れによる収入が22億円あったことや短期借入金が純額で6千4百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、第3四半期以降の業績については計画通りに推移すると見込まれており、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想に変更はありません。

当社グループとしては、新型コロナウイルス感染症の収束時期を正確に予測することは困難な状況にありますが、我が国を含む海外諸国の多くで経済活動再開のためにワクチンの接種が進み始めていることから、当連結会計年度中には人の移動制限が大幅に緩和されるものと想定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,453,522	7,001,806
受取手形及び売掛金	3,208,895	2,743,666
商品及び製品	636,721	565,272
仕掛品	1,841,569	2,969,882
原材料及び貯蔵品	657,087	678,661
その他	346,812	499,660
貸倒引当金	△3,348	△4,469
流動資産合計	12,141,259	14,454,480
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,119,108	3,135,033
機械装置及び運搬具	229,484	238,590
土地	1,305,594	1,305,515
リース資産	3,036	3,036
その他	305,451	371,668
減価償却累計額	△1,961,924	△2,033,700
有形固定資産合計	3,000,749	3,020,143
無形固定資産		
その他	61,247	58,055
無形固定資産合計	61,247	58,055
投資その他の資産		
投資有価証券	373,011	346,868
繰延税金資産	63,257	72,317
保険積立金	1,309,773	1,168,347
その他	667,221	776,622
貸倒引当金	△244,559	△375,988
投資その他の資産合計	2,168,704	1,988,167
固定資産合計	5,230,701	5,066,366
資産合計	17,371,961	19,520,846

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,322,340	1,707,044
短期借入金	1,432,000	1,496,800
1年内返済予定の長期借入金	474,186	570,880
未払法人税等	218,122	62,854
賞与引当金	87,536	118,246
製品保証引当金	132,888	105,167
前受金	961,427	1,382,956
その他	372,455	284,120
流動負債合計	5,000,956	5,728,070
固定負債		
長期借入金	570,668	2,421,888
繰延税金負債	103,524	12,448
役員退職慰労引当金	167,696	172,336
退職給付に係る負債	213,150	227,618
資産除去債務	17,960	18,105
その他	-	28,453
固定負債合計	1,072,999	2,880,850
負債合計	6,073,956	8,608,920
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,023,100	1,023,100
資本剰余金	936,400	936,400
利益剰余金	9,036,725	8,384,223
自己株式	△327,223	△327,223
株主資本合計	10,669,002	10,016,499
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	219,527	201,348
為替換算調整勘定	239,763	476,727
その他の包括利益累計額合計	459,291	678,076
非支配株主持分	169,711	217,350
純資産合計	11,298,005	10,911,926
負債純資産合計	17,371,961	19,520,846

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	5,699,034	3,269,115
売上原価	3,756,218	2,594,251
売上総利益	1,942,816	674,864
販売費及び一般管理費		
製品保証引当金繰入額	72,301	32,535
貸倒引当金繰入額	12,386	132,556
役員報酬	195,051	177,951
給料手当及び賞与	389,514	378,856
賞与引当金繰入額	47,413	47,103
退職給付費用	13,633	12,965
役員退職慰労引当金繰入額	4,440	4,640
運賃	204,776	126,462
減価償却費	15,313	16,967
研究開発費	23,854	44,017
その他	573,035	577,545
販売費及び一般管理費合計	1,551,722	1,551,602
営業利益又は営業損失(△)	391,093	△876,737
営業外収益		
受取利息及び配当金	15,225	42,002
為替差益	24,661	294,864
その他	5,599	22,225
営業外収益合計	45,486	359,092
営業外費用		
支払利息	6,108	7,636
売上債権売却損	486	1,291
支払手数料	2,825	2,327
保険解約損	491	9,805
その他	0	65
営業外費用合計	9,911	21,126
経常利益又は経常損失(△)	426,668	△538,771
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	426,668	△538,771
法人税、住民税及び事業税	206,979	34,985
法人税等調整額	△45,443	△82,902
法人税等合計	161,535	△47,917
四半期純利益又は四半期純損失(△)	265,132	△490,854
非支配株主に帰属する四半期純利益	5,878	24,164
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	259,254	△515,018

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	265,132	△490,854
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	106,423	△18,179
為替換算調整勘定	9,766	260,439
その他の包括利益合計	116,190	242,260
四半期包括利益	381,322	△248,594
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	375,116	△296,233
非支配株主に係る四半期包括利益	6,206	47,638

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	426,668	△538,771
減価償却費	70,260	71,205
貸倒引当金の増減額(△は減少)	12,342	132,441
賞与引当金の増減額(△は減少)	27,602	30,718
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△1,851	△28,790
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,091	14,644
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	4,440	4,640
受取利息及び受取配当金	△15,225	△42,002
支払利息	6,108	7,636
為替差損益(△は益)	△8,855	△82,292
売上債権の増減額(△は増加)	612,002	524,638
棚卸資産の増減額(△は増加)	195,762	△1,031,429
仕入債務の増減額(△は減少)	△529,728	359,844
前受金の増減額(△は減少)	△141,832	369,352
その他	56,903	△390,093
小計	725,686	△598,257
利息及び配当金の受取額	10,737	30,747
利息の支払額	△6,483	△9,167
法人税等の支払額	△106,437	△189,589
営業活動によるキャッシュ・フロー	623,503	△766,265
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△393,873	△543,420
定期預金の払戻による収入	489,607	468,060
有形固定資産の取得による支出	△4,306	△24,928
保険積立金の積立による支出	△19,168	△17,510
保険積立金の解約による収入	8,091	165,466
その他	992	△2,707
投資活動によるキャッシュ・フロー	81,341	44,958
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	360,000	64,800
長期借入れによる収入	350,000	2,200,000
長期借入金の返済による支出	△219,778	△252,086
自己株式の取得による支出	△227,700	-
配当金の支払額	△140,506	△137,782
財務活動によるキャッシュ・フロー	122,015	1,874,931
現金及び現金同等物に係る換算差額	49,498	244,796
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	876,358	1,398,420
現金及び現金同等物の期首残高	3,569,465	3,330,797
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,445,824	4,729,217

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(米国財務会計基準審議会会計基準編纂書(ASC)第842号「リース」の適用)

米国会計基準を採用している在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間より、ASC第842号「リース」を適用しております。

これにより、当該在外連結子会社における借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することといたしました。

当該会計基準の適用にあたっては、経過措置で認められている、当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、第1四半期連結会計期間の期首において、使用権資産は有形固定資産の「その他」が53,537千円、リース負債は流動負債の「その他」が22,386千円、固定負債の「その他」が31,150千円、それぞれ増加しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書に与える影響はありません。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
バランスिंगマシン	3,890,251	—	33,979	333,951	129,229	4,387,411	5,768	4,393,179
電気サーボモータ式振動試験機	386,630	—	53,828	98,905	—	539,364	—	539,364
材料試験機	—	94,628	—	—	—	94,628	—	94,628
シャフト歪自動矯正機	70,349	—	—	45,162	11,789	127,300	—	127,300
その他	353,322	—	97,529	41,535	35,932	528,320	16,240	544,561
顧客との契約から生じる収益	4,700,553	94,628	185,337	519,554	176,951	5,677,025	22,008	5,699,034
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,700,553	94,628	185,337	519,554	176,951	5,677,025	22,008	5,699,034
セグメント間の内部売上高又は振替高	344,211	12,600	14,138	272,749	83,444	727,143	62,029	789,172
計	5,044,764	107,228	199,475	792,303	260,396	6,404,168	84,037	6,488,206
セグメント利益又は損失(△)	656,344	△21,042	△57,879	72,516	△14,683	635,254	25,280	660,534

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	635,254
「その他」の区分の利益	25,280
セグメント間取引消去等(注)	△233,866
四半期連結損益計算書の経常利益	426,668

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が166,511千円含まれております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	日本		米国	韓国	中国	計		
	国際計測器 株式会社	東伸工業 株式会社						
売上高								
バランスングマシン	1,589,152	—	107,925	106,020	336,197	2,139,295	15,124	2,154,420
電気サーボモータ式振動試験機	202,237	—	89,413	56,749	61,665	410,065	4,442	414,508
材料試験機	—	59,169	—	—	—	59,169	—	59,169
シャフト歪自動矯正機	94,213	—	—	—	33,141	127,354	10,253	137,607
その他	314,812	—	70,974	44,931	21,933	452,652	50,757	503,409
顧客との契約から生じる収益	2,200,415	59,169	268,314	207,701	452,937	3,188,538	80,577	3,269,115
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,200,415	59,169	268,314	207,701	452,937	3,188,538	80,577	3,269,115
セグメント間の内部売上高又は振替高	174,853	12,674	62,213	281,636	116,310	647,688	90,245	737,934
計	2,375,269	71,843	330,528	489,337	569,248	3,836,226	170,823	4,007,050
セグメント利益又は損失(△)	△544,327	△31,601	△52,239	10,096	29,537	△588,535	64,222	△524,312

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、東南アジア及びヨーロッパ等の現地法人を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△588,535
「その他」の区分の利益	64,222
セグメント間取引消去等(注)	△14,458
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△538,771

(注) セグメント間取引消去等には、セグメント間の受取配当金が52,794千円含まれております。

3. その他

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

区分	生産高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	2,175,189	△50.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	455,892	△15.5	日本(国際), 韓国
シャフト歪自動矯正機	137,608	+8.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	59,169	△37.5	日本(東伸)
その他	441,253	△19.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合計	3,269,111	△42.6	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(2) 受注状況

①受注高

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

区分	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	3,563,618	+58.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	1,052,740	+67.8	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	342,808	+64.7	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	186,500	△31.1	日本(東伸)
その他	1,378,079	+130.6	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合計	6,523,747	+64.9	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

②受注残高

当第2四半期連結累計期間末(2022年9月30日)

区分	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	7,057,440	+43.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	2,316,638	△6.0	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	636,186	+87.3	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	202,000	△9.1	日本(東伸)
その他	965,184	+1,273.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合計	11,177,449	+39.5	—

(注1) 金額は、受注価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。

(3) 販売実績

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

区分	売上高(千円)	前年同四半期比(%)	セグメントとの関連
バランスिंगマシン	2,193,629	△50.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
電気サーボモータ式振動試験機	455,894	△15.5	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
シャフト歪自動矯正機	137,607	+8.1	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
材料試験機	59,169	△37.5	日本(東伸)
その他	422,814	△22.4	日本(国際), 米国, 韓国, 中国
合計	3,269,115	△42.6	—

(注1) 金額は、販売価格によっております。

(注2) 日本(国際)、日本(東伸)は、それぞれ報告セグメントの日本(国際計測器株式会社)、日本(東伸工業株式会社)であります。